

久喜市の花 市民アンケート集計結果

No.	花の名称	票数	主な理由	特徴
1	ラベンダー	55	香りが良い。紫色がきれい。菖蒲地区のラベンダーがテレビ等で報道され、知名度があるため、観光PRに有効。	地中海沿岸地方原産のシソ科の常緑小低木。茎は小枝を多く分枝し、高さ50cm～90cm。淡紫色の唇形花を多数開く。全草に芳香あるラベンダー油を含む。
2	コスモス	46	花言葉が「調和」なので、新市の花にふさわしい。鷺宮地区のコスモスロードが市民に愛され、観光名所にもなっている。花がきれい。市の花として普及しやすい。	メキシコ原産のキク科の一年草。高さ1m～2m。秋に頭状花を開く。
3	ナノハナ	41	市内各所に生息。青毛堀川沿いに咲く黄色の花は鮮やか。花言葉「快活」。	アブラナ科アブラナ属の花。高さ80cm～150cm。春に花茎を出し、4月に多数の黄色い小花を開く。
4	ナシノハナ	38	梨の生産量は県内第1位のため、久喜市のPRに有効。市の特産品。花言葉が「博愛」「愛情」でよい。白い花がきれい。市内の広範囲において、100年以上にわたる栽培の歴史がある。	バラ科ナシ属の落葉小高木～高木。古くから改良。花は白色で5～10個が散房状につく。果実は黄褐色などで、夏～秋に収穫。
5	レンゲソウ	39	れんげ祭り等で親しまれている。田園都市にあっている。	中国原産のマメ科の越年草。緑肥、飼料として田に多く作られる。4月～6月、先端に紅紫色の花をつける。江戸時代以前に渡来。
6	キキョウ	21	花言葉が「変わらぬ愛」「気品」「誠実」で良い。	花は観賞用、根は薬用として古くから栽培される多年草。高さ40cm～100cm。夏に青紫色の花を開く。
7	アヤメ	20	市内の広範囲に見られる。紫色がきれい。古来より自生しており、気品ある姿は久喜市にふさわしい。	日本に自生するアヤメ科の多年草。高さ30cm～60cmの花茎に、5月～6月に紫色の花が1～3個つく。
8	サクラ	13	古来より人々に愛されている。市内各所に名所がある。	バラ科サクラ属の落葉高木。日本古来から栽培され、品種多数。3月～4月に白、濃桃色などの花を咲かせる。

No.	花の名称	票数	主な理由	特徴
9	ヒマワリ	8	力強く咲き誇るイメージ。育てるのが容易で啓発に有効。	北米原産のキク科の1年草。高さ1m～3mの茎の上部に、夏に大型の頭花をつける。品種に観賞用と油料用あり。
10	バラ	7	華やか。美しい。	バラ科バラ属の植物。原種は約100種。最も代表的な鑑賞花木。
11	ポピー	6	菖蒲、鷺宮地区でたくさん咲き、親しまれている。	欧州原産のケシ科の越年草。6月頃、赤、橙などの4枚の花をつける。
12	シバザクラ	4	色あいがきれい	北米原産のハナシノブ科の宿根草。4月～5月に、紅、淡紅、青紫、白色の花を一面に開く。
13	タンポポ	4	親しみのある花。高貴な花でなくても、心にやさしさを与える市になって欲しいから。	キク科の多年草。春、茎頂に黄色の頭花をつける。果実は褐色で、頂に白色の冠毛が傘状につき風で飛ぶ。
14	ハナショウブ	4	文化田園都市にふさわしい。菖蒲地区には、花を見に多くの観光客が来ている。	アヤメ科の多年草で、日本各地に自生。水辺など湿った地に栽培される。6月～7月に赤紫色の花を開く。品種が多数作られたのは、江戸時代以後。
15	アサガオ	3	花言葉が「結束」と新市にふさわしい。緑のカーテンとして普及しやすい。アサガオのようにすくすくと久喜が育てばいい。	ヒルガオ科のつる性1年草。熱帯アジア原産と言われる。1m～3mの高さに左巻きに登り、夏に花を咲かせる。10世紀頃中国から渡来。江戸時代に観賞用に多数の品種が作られた。
16	ジンチョウゲ	3	栄光、不死、不滅の花言葉を持つので、合併した久喜市の発展を意味する。	中国原産のジンチョウゲ科の常緑低木。1m～1.5mの高さになる。枝先に群生するつぼみを早春に開き、強い芳香を放つ。外側が紅紫色で内面は白色の花。
17	スズラン	3	花言葉が「幸せの再来」	高原の草原に生えるユリ科の多年草。4月～6月、鐘形の白色の花が咲き、かおりが高い。

No.	花の名称	票数	主な理由	特徴
18	チューリップ	3	子どもが好き	ユリ科の球根植物。花茎を伸ばして先に大型の花をつける。多数の園芸品種あり。
19	サクラソウ	2	県の花	サクラソウ科の多年草。4月～5月に花茎の上端に淡紅色、白色の花を数個から十数個傘状につける。
20	サルビア	2	赤があざやかでとても強いイメージ	シソ科の1年草。夏～秋、茎頂に長い穂状に朱紅色の花をつける。
21	シロツメクサ	2	田畑でよく見られる。四ツ葉のクローバーに、人々の幸せを重ねた。	欧州原産のマメ科の多年草。4月～7月、上端に白色の小花をつける。クローバとも言われる。江戸時代に渡来し、明治初期以来、飼料作物として盛んに導入された。
22	ソバノハナ	2	市内の広範囲で栽培されている。	中央アジア～東アジア原産のタデ科の1年草。高さ40cm～80cm。6月～9月に茎の先や葉の脇に白い花が集まって咲く。種子の中身がソバ粉になる。
23	ポタン	2	花が大きく、豪華なので。	中国原産のキンポウゲ科の落葉低木。高さ1m～3mになり、枝先に径15cm～25cmの大輪の花を開く。
24	パンジー	2	丈夫で冬に耐え咲く。きれい。	スミレ科の秋植え1年草。3月～5月に花を咲かせる。多数の品種改良種あり。
25	モクレン	2	香りが良い	中国原産のモクレン科の落葉低木。高さ2m～3m。古く日本に渡来。枝の先に6弁の大きな暗紫色の花を開く。

※2票以上得票した花には、参考として特徴を記載。

【参考文献】

- 下中邦彦編著『カラー植物百貨』平凡社、1974年
 中川重年『日本の樹木・上』小学館、1991年
 中川重年『日本の樹木・下』小学館、1991年
 牧野富太郎『原色牧野植物大図鑑』北隆館、1982年

得票数 1 の花

No.	花の名称	票数	主な理由
26	アカソバ	1	栗橋地区の赤蕎麦が新聞で取り上げられている。
27	アカハナソバ	1	—
28	アネモネ	1	花言葉が「期待」と「可能性」だから
29	イチゴ	1	地域の特産である。花言葉「尊敬と愛」を大切にする市になって欲しい。
30	オキザリス	1	花言葉(輝く心、喜び、母親の優しさ)。見た目よりも素朴で親しみやすい。
31	ガーベラ	1	きれい
32	カサブランカ	1	好き
33	カタバミ	1	一度根付くと絶えないことから、久喜市をPRするのにピッタリ。
34	カラー	1	花言葉は「熱意ステキな美」。市民の熱意で美しい街づくりを。
35	キク	1	くきの逆ということで
36	キンセンカ	1	合併した3月に咲いている花。花言葉「静かな思い」。
37	グラジオラス	1	3月23日の誕生花
38	サザンカ	1	寒さに強い
39	シズカザクラ	1	全国的に現存しているのが珍しい
40	スイセン	1	美しくきれい
41	センニチコウ	1	末永く久喜市が繁栄するように
42	ツツジ	1	出身地の花
43	ツバキ	1	日本古来種
44	ドウダンツツジ	1	—
45	ドクダミ	1	花より薬
46	ハスノハナ	1	古来仏教より伝承されて、日本人の心を表したかのような美しさ。
47	ヒャクニチソウ	1	「絆」の花言葉
48	ブーゲンビリア	1	南国を感じさせる
49	マツバボタン	1	自然環境に強く、長期間咲く。
50	ラン	1	きれい